

「広域災害発生時における、みちびきを利用した洋上風力発電所の点検事業」

エアロダイナミクス株式会社

- 発災時の洋上風力発電所の迅速な復旧には、陸上からドローンを飛ばして自動撮影し、遠隔で異常箇所を把握できることが効果的だが、発電施設を近距離で飛行・撮影するには高精度の位置制御が必要
- 島根県出雲市のキラトウーリマキ風力発電所を洋上風力発電所に見立て、CLAS対応ドローンの自律航行によって、洋上経路で風車に接近し、点検に必要な映像を撮影
- ブレード前縁の塗料剥がれなどの損傷も判別可能なレベルで捉えられており、発電所点検事業者からも「災害後の早期復旧が可能になり、点検事業者のニーズにも合致している」との評価を得た
- 今後、実用化に向けて点検手法、機材の改善、ドローン点検により省力化できる点検項目の具体化を検討しつつ、災害で道路寸断された陸上風力発電所の一次復旧点検にも活用していく予定

CLAS対応ドローン



Drone Work System社製 Eagle15

飛行ルート



実証の様子



撮影ルート



撮影画像を用いた点検

